

## 目標達成計画

作成日: 令和2年1月20日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		日常的な外出支援	職員不足と御利用者様の高齢化、重度化により以前に比べて外出の機会が減っている。職員の勤務体制の見直しや人員配置の工夫によって御利用者様の生きがいや楽しみに繋がる外出の支援に取り組んでいく。	御家族様やボランティア様の御協力を得て、外出や外食等に積極的に取り組み、御利用者様の気分転換を図っていく。また、御希望に応じた少人数や個別の外出の取り組みも充実させていく。	12ヶ月
2		災害対策として、地域との連携は十分とはいえないが、自治会や地域の公民館との協力関係はある。今後の課題として地域での防災対策についての取り組みをどのように共有していくのかが課題。	地域での防災対策等の話し合いがあれば、積極的に参加し、地域にも貢献できる場所を確認し、災害に対して御利用者様・御家族様が安心できる事業所を目指す。	地域の公民館で防災対策等についての話し合いがあれば参加し、最新の情報を取り入れるようにする。また市の総務課に運営推進会議に御参加頂き、ひのきの防災対策マニュアルについての御助言を頂く。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。